

みしま

町のすがた

(9月1日現在)

人口 男 3,348人(+13)
 女 3,586人(+5)
 計 6,934人(+18)
 世帯数 1,557 (0)
 ()は8月1日との比較

発行 昭和51年9月15日
 新潟県三島郡三島町役場
 電話 (025842) 2221
 印刷 長岡市北越印刷機



第102号

広報

みしま

網の薄物単衣に被衣(かづぎ)がある。三枚とも明治大正のものであるが、婚礼のとき、嫁が婚家に入る時や、葬式に近親の既婚婦人がかぶったものである。被衣の特徴は、網の薄地で袖下と胸抜きに山水等の小模様があつて、かぶるときに都合のよいように襟の肩が普通の着物より、二十センチも前に下げて付けられていることである。被衣は、中世以降の風習として



資料館の衣服 (中)



おしらせ

アップした老齢年金額

種別	5年 10年		強制被保険者				
	年金	年金	明	明	大	大	大
生年月日	明	明	明	明	大	大	大
	39.4.2~44.4.1	44.4.2	45.4.2	2.4.2	3.4.2	4.4.2	5.4.2
60歳以上全員の年金額	180,000	246,000	246,000	255,600	265,200	274,800	284,400
60歳未満全員の年金額	15,000	20,500	20,500	21,300	22,100	22,900	23,700
横上げ請求をした場合の月額	—	11,890	11,890	12,354	12,818	13,282	13,746
61歳(82%)	—	13,325	13,325	13,845	14,365	14,885	15,405
62歳(72%)	—	14,760	14,760	15,336	15,912	16,488	17,064
63歳(62%)	—	16,400	16,400	17,040	17,680	18,320	18,960
64歳(52%)	—	18,245	18,245	18,957	19,669	20,381	21,093

いよいよ今月から拠出制の国民年金が増額されます。この増額は、先に成立した国民年金改正法に基づいて行われるものですが、「敬老の日」を迎えたことでもあり、おとしよりのみな

さんにはまたとないプレゼントになることでしょう。新しい年金額はそれぞれ表のとおりとなりますが、受給者のみなさんのお手元に届くのは、老齢年金が十一月、その他の年金が十二月の支払い月からとなります。

老齢年金以外の障害年金(最低保障額)は一級四万一千二百五十円、二級三万三千円、母子、遺児の各年金は一人で三万三千円、子二人で三万五千円、子三人で三万五千四百円となります。ところで、年金制度について疑問の点などはありませんか?



被衣

郵政職員を募集
 締め切り九月二十五日
 信越郵政局は、長野、新潟県下及び京浜、東海地区で勤務する郵政職員を募集しています。



五月から欠員となっていた鳥越駐在所に磯部清晴巡査長(前任新井警察署)が八月三十日に着任されました。新任の磯部巡査長さんは、「一日も早く地域のみなさんと親しくなり、気軽に相談のできる駐在所にしたい」とおっしゃっています。

鳥越駐在所に 磯部巡査長

9、10月衛生行事

月日	種目	対象者	ところ	とき
9.24	乳児検診	生後3ヶ月~1才未満の乳児	総合福祉センター	13.00~15.00
9.30	献血	希望者	〃	10.00~15.00
10.8	妊婦検診	妊婦	〃	13.00~15.00
10.12	子宮ガン検診	希望者	〃	13.00~15.00
10.14	胃ガン検診	〃	〃	9.00~11.30
10.15	〃	〃	〃	〃
10.16	〃	〃	〃	〃



「わたしはね、あんたたちが今日来てくれるというので、夕べは胸がドキドキして眠れなかったんですよ。だって二十人も来てくれたらこの家に入れきれないんだもん」
 「私たちが、せっかとおしゃましてもどんな話しをすればいいのかかわからず心配で、心配で」
 「本当にありがとう、嫌だったろうにね」
 「安心しました。だってこんなに笑顔で話しが

できるんだもの。心配がウソみたい」
 「こんなにきれいな鶴はどうして折るの? 折り方がわからないわ」
 「じゃ、お教えてあげましょう。すぐ覚えられますから」
 こんな調子でおばあちゃんと、幸せを届けた乙女たちの笑い声は一時を過ぎて途切れることはなかった。(関連記事三面に掲載)

わあ!! もういいよ

ありがとう、ホントにありがとう

季節の話題
赤い羽根は 勇気のシンボル
 明日は暑くなるだろう。こんどは大じょうぶさ。と言っているうちにとうとう夏が終ってしまいました。そしてもう九月半ば。いつの間にか飛びかう赤トンボはアキアカネから真赤なシヨウジョウトンボに変わりはじめ、ツツク法師の音がより強く秋を印象づけてくれます。さて、前置きはこれくらいにして、今年も十月一日から共同募金が全国的に行われます。これはコミュニティー・チェストの訳語で、スイスの一牧師が「あたえよ取れよ」と書いた箱を路上に置き、通行人が自発的に金を入れたり、また出したりしたことが始まりといわれております。日本でも大正十年に長崎で行われましたが、社会的意識も低いころだったのが自然と消滅してしまいました。
 戦後アメリカのまねで赤い羽根を応募者に渡すようになりましたが、赤い羽根にしたそもその理由は、ヨーロッパアメリカで昔から正義や勇気の象徴として赤い羽根を頭につけるのを名譽にしておりまして、特にアメリカ・インディアンは生きているワシから羽根を抜いて赤く染めて頭部にさして誇りを現したという事です。ロビンフッドや三銃士が帽子に赤い羽根をつけ正義のシンボルにしたことはよく知られておりまして、赤い羽根は単に募金をした「印」ではなく、勇気ある正義の士に与えられる「章」であるのです。

医学のために献体を

将来の立派な医師を育てるため医科・歯科大学に自分の死後、遺体を提供することを「献体」といいます。県内に、生前にこの献体を予約する篤志家の団体「白菊会」が結成されています。純粋に医学進歩のためご賛同くださるかたは、総務課にお問い合わせください。

献血車「ゆうあい号」が来ます

＊とき 9月30日午前10時~午後3時
 ＊ところ 町総合福祉センター
 1人でも多くの献血をお願いします。

